

NIPPON ELEVATOR CATALOG

Lift trust to the future.

スクリー式エレベーター

CONTENTS

信頼を乗せて、未来へ運ぶ

高層ビル化、バリアフリー化が進む現在において
エレベーターは電気や水道と同じように、社会に欠かせないインフラです。

私たちは日本のエレベーター専門メーカーのパイオニアとして
1935年の創業以来、メイド・イン・ニッポンのものづくりにこだわり
お客様のニーズに一つひとつ丁寧に応えてきました。

何よりも安全という信頼を乗せて、誰かにとっての未来へ運ぶ。
「エレベーター一筋」で積み重ねた歴史と経験を誇りに、
これからも一台一台のエレベーターを大切につくり、見守りつづけます。

NIPPON ELEVATOR

【ISO9001】取得認証企業 埼玉工場

01	日本エレベーター製造株式会社
02	CONTENTS
03-16	スクリー式エレベーター
17-18	安心の保守・管理
19	サービスネットワーク

スクリー式エレベーター

ピット深さが150mmの省スペース型エレベーター。

通常エレベーターの設置が困難な場所へのご提案。



今まで構造的な制約やコストの問題で設置が難しかった既存の駅へのエレベーター設置を容易にしました。

一般の建物に対しても有効なバリアフリー対応設備です。

スクリー式エレベーターの特色としては、必要ピット深さが150mmと浅いため、既存の駅舎や建物に設置する場合でも、建築コストを大幅に低減することができます。場合によっては、ピットを掘らずにスロープで施工することも可能であり、これは従来のロープ式や油圧式エレベーターではできない工法でした。

これまでエレベーターの設置は困難と諦めていた場所のバリアフリー化は、スクリー式エレベーターにお任せください。



共同開発 | 東日本旅客鉄道株式会社

スクリー式エレベーターの特徴

ピットの深さは150mm。さらに機械室が不要

ピット深さ150mmを実現。機械室不要のメリットにより、中間階へのエレベーター設置を可能にしました。

ご採用例

駅舎2階のコンコースから3階ホームまでエレベーターを増設し、ピット下の1階スペースは、従来通り通路や店舗としてそのまま使用する。

※ピット深さは、必ず、150mm以上確保してください。

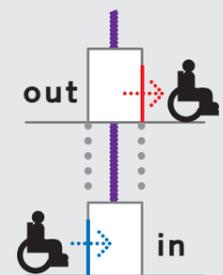
※ピット下を通路や店舗として利用する場合、ピット床を二重スラブとしてください。

(事前に特定行政庁、指定確認検査機関への確認が必要です。)

車いすをご利用の方も安心してご使用いただける

二方向出入口タイプ

かご内に設けられた2つの出入口によって、車いすをご利用される方も方向転換は不要、乗り込んだ向きのまま降りることができます。また、設計の自由度を向上させるために、かごの出入口は貫通型と直角型の2タイプをご用意いたしました。

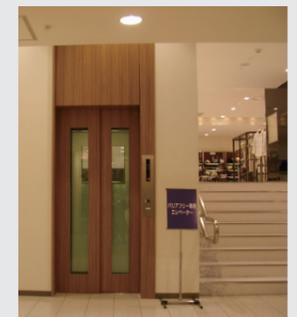


通路等の小段差解消としての用途に

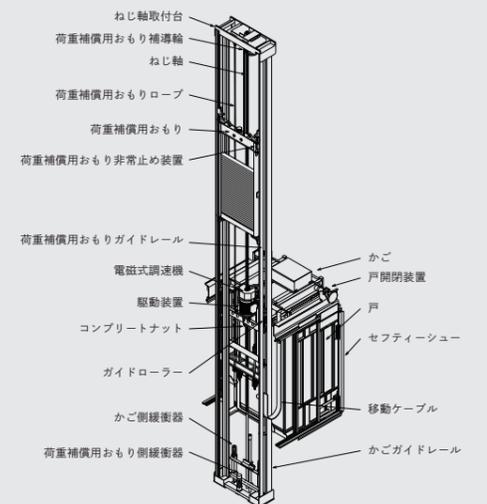
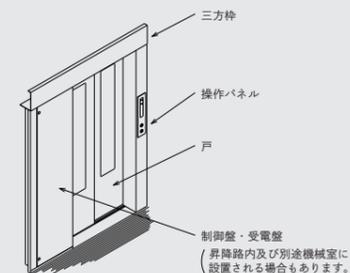
地下通路及び駅舎などでは、フロア間の段差が少ない場合があります。その点に於いてもスクリー式エレベーターは従来のエレベーターより有用となります。更に施設係員の方等による介添えの手間を省くことが出来ます。

※9人乗り(貫通・直角二方向)については昇降行程1200mm以上から対応可能。

※昇降行程3000mm以下の場合、昇降路隣接部に制御盤等の設置スペースをご用意ください。



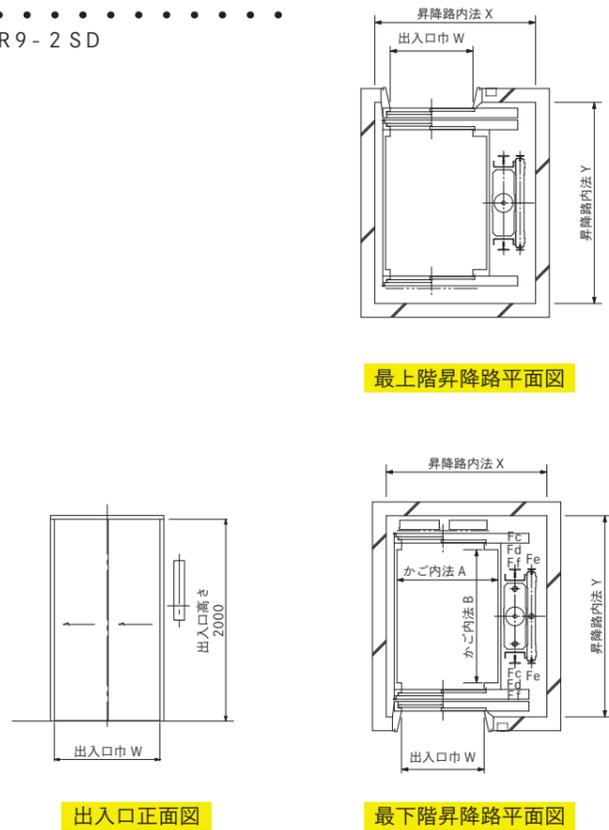
スクリー式エレベーターの構造



スクリー式 RC造 / 据付図

二方向出入口（貫通型）

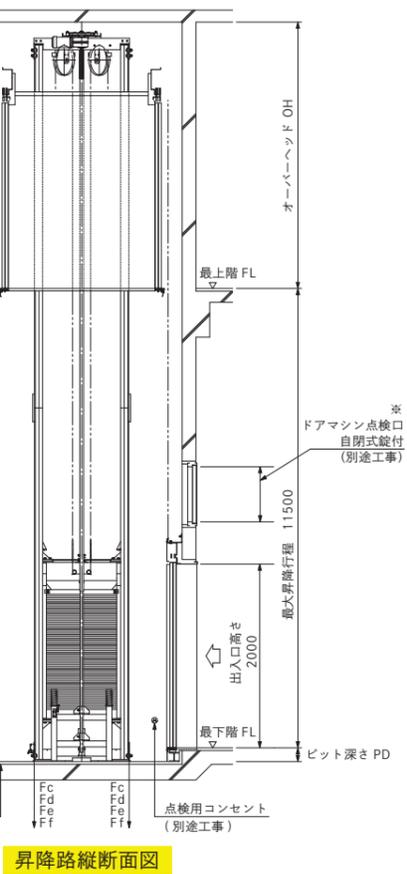
SCDD-R9-2SD



最上階昇降路平面図

最下階昇降路平面図

出入口正面図



昇降路縦断面図

※ 出入口が最下階のみにしか無い場合は、その出入口上部または最下階出入口側の上階のどこかに、ドアマシ点検口が必要です。ドアマシ点検口の必要サイズはW（出入口巾）×H500以上です。ドアマシ点検口が設けられない場合はご相談ください。

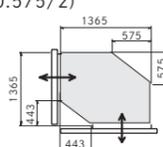
昇降路寸法表（1）

（単位 mm）

形式	定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	かご内法			出入口 ※7			昇降行程 (mm) ※3	昇降路 ※2				電動機 容量 (kW)		
				間口 A	奥行 B	高さ	型式	巾 W	高さ		S造内法 ※1		RC造内法			ピット 深さ PD	オーバー ヘッド OH
											間口 X	奥行 Y	間口 X	奥行 Y			
SCDD-R9-2SD	9	600	30 (18) ※4	1100	1450	2100	貫通 二方向	900	2000	1200 ≧ 11500	1730	2220	2220	150	2900	9.5	
SCDD-R9-2S							一方 向 ※5			2500 ≧ 11500							2030
SCDD-R9-2SQ							直角 二方向			1200 ≧ 11500	2250	1920	2320	1920			

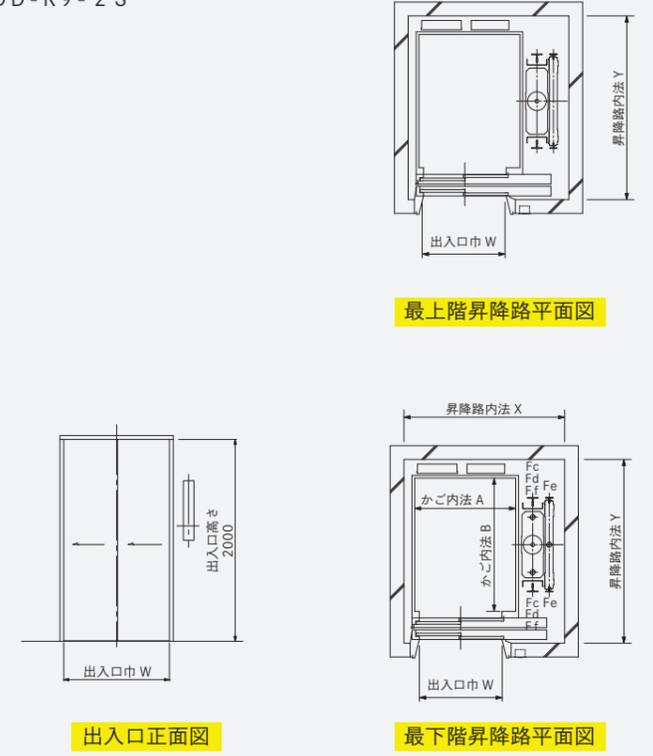
※1 S構造内法は柱・梁の耐火被覆の内寸法となります。
 ※2 昇降路内法寸法はピット防水仕上後の有効寸法です。
 ※3 昇降行程は出入口型式が一方の場合、最小2.5m。出入口型式が貫通、直角の場合、最小1.2mとなります。また、最大は11.5m（4停止）以下となります。
 ※4 昇降行程が2.5m以下の場合、速度18m/分となります。
 ※5 出入口が一方の機種は、バリアフリー新法には適合していません。（P11を除き、施設の区分による。）

※6 床内法面積の計算
 $面積 A = 1.365 \times 1.365 - (0.443 \times 0.443 / 2 + 0.575 \times 0.575 / 2) = 1.6 (m^2)$
 ※7 出入口型式は、全機種2枚戸片開き式です。昇降機耐震設計・施工指針（2016年版）耐震クラスA14が基本です。耐震クラスS14をご用命の場合はご相談ください。



一方向出入口

SCDD-R9-2S



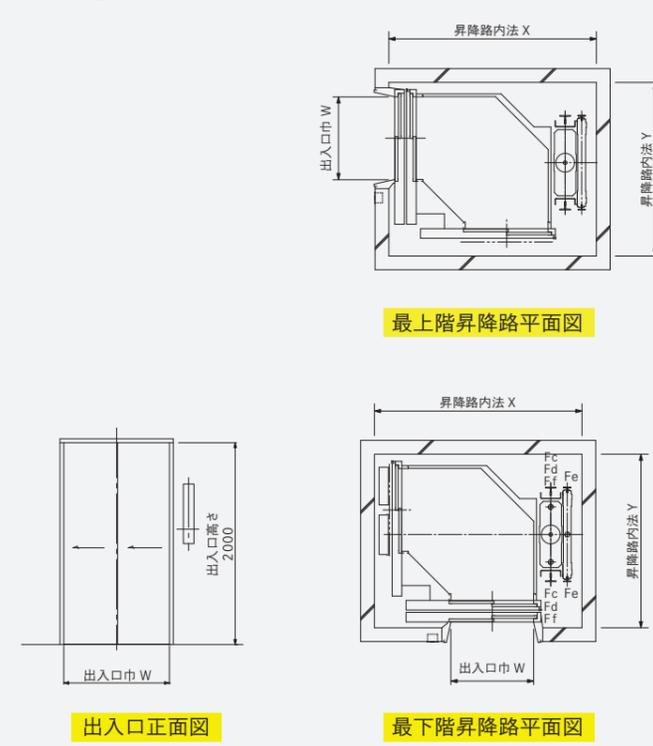
最上階昇降路平面図

最下階昇降路平面図

出入口正面図

二方向出入口（直角型）

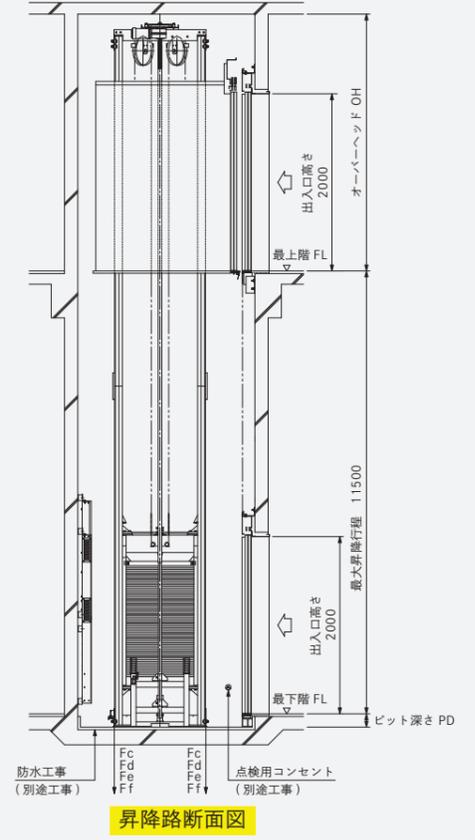
SCDD-R9-2SQ



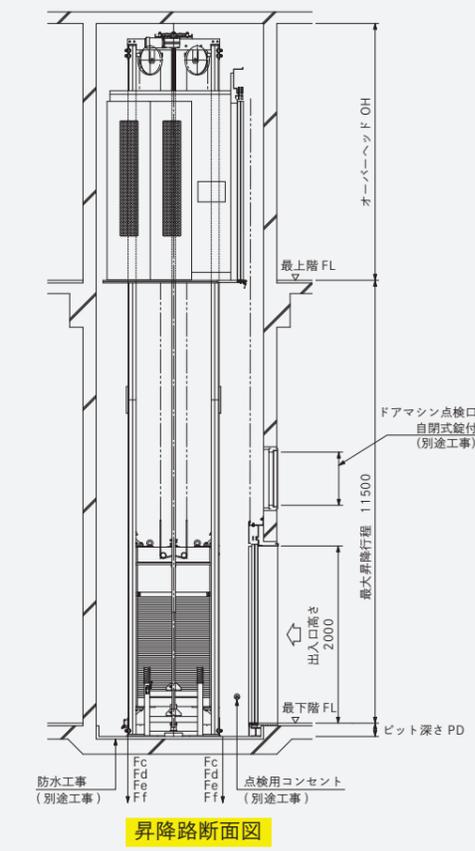
最上階昇降路平面図

最下階昇降路平面図

出入口正面図



昇降路断面図



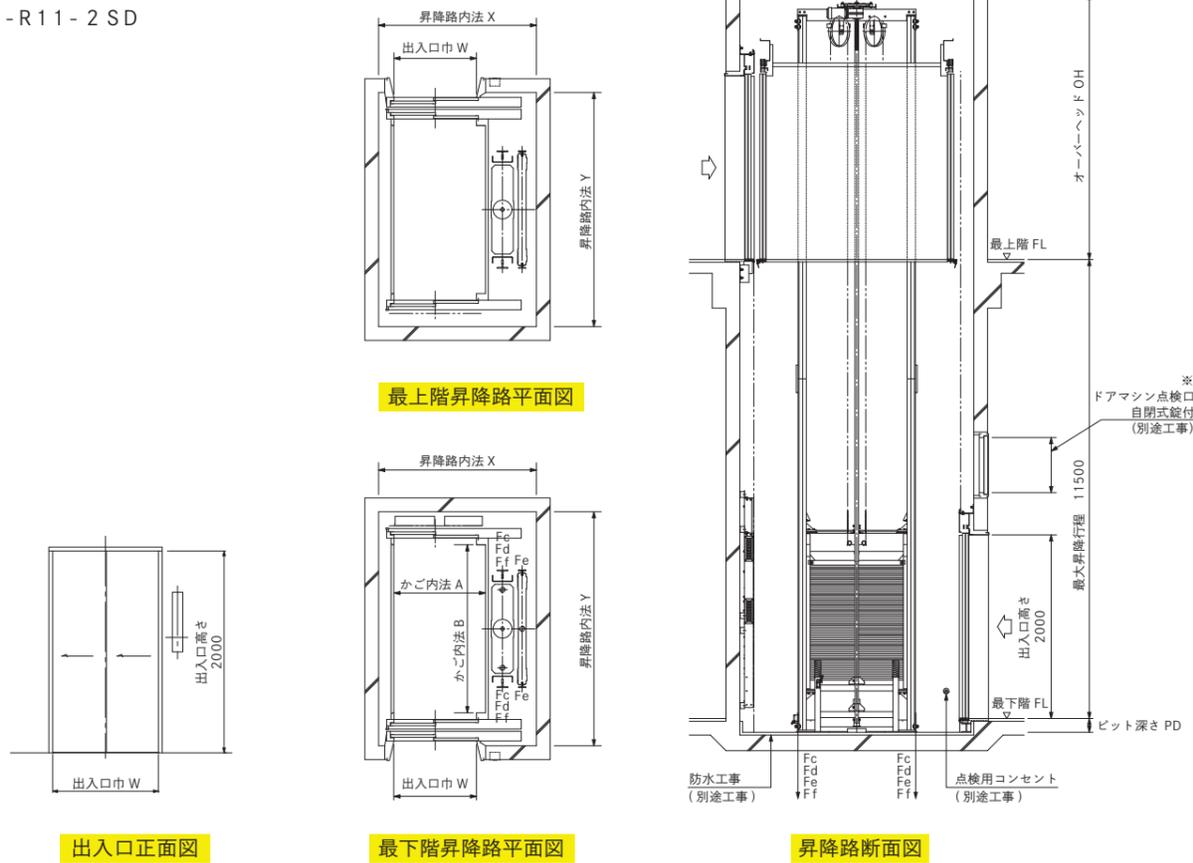
昇降路断面図

※ 出入口が最下階のみにしか無い場合は、その出入口上部または最下階出入口側の上階のどこかに、ドアマシ点検口が必要です。ドアマシ点検口の必要サイズはW（出入口巾）×H500以上です。ドアマシ点検口が設けられない場合はご相談ください。

スクリー式 RC造 / 据付図

二方向出入口（貫通型）

SCDD-R11-2SD



※ 出入口が最下階のみにしか無い場合は、その出入口上部または最下階出入口側の上階のどこかに、ドアマシン点検口が必要です。ドアマシン点検口の必要サイズはW（出入口巾）×H500以上です。ドアマシン点検口が設けられない場合はご相談ください。

昇降路寸法表（2）

（単位 mm）

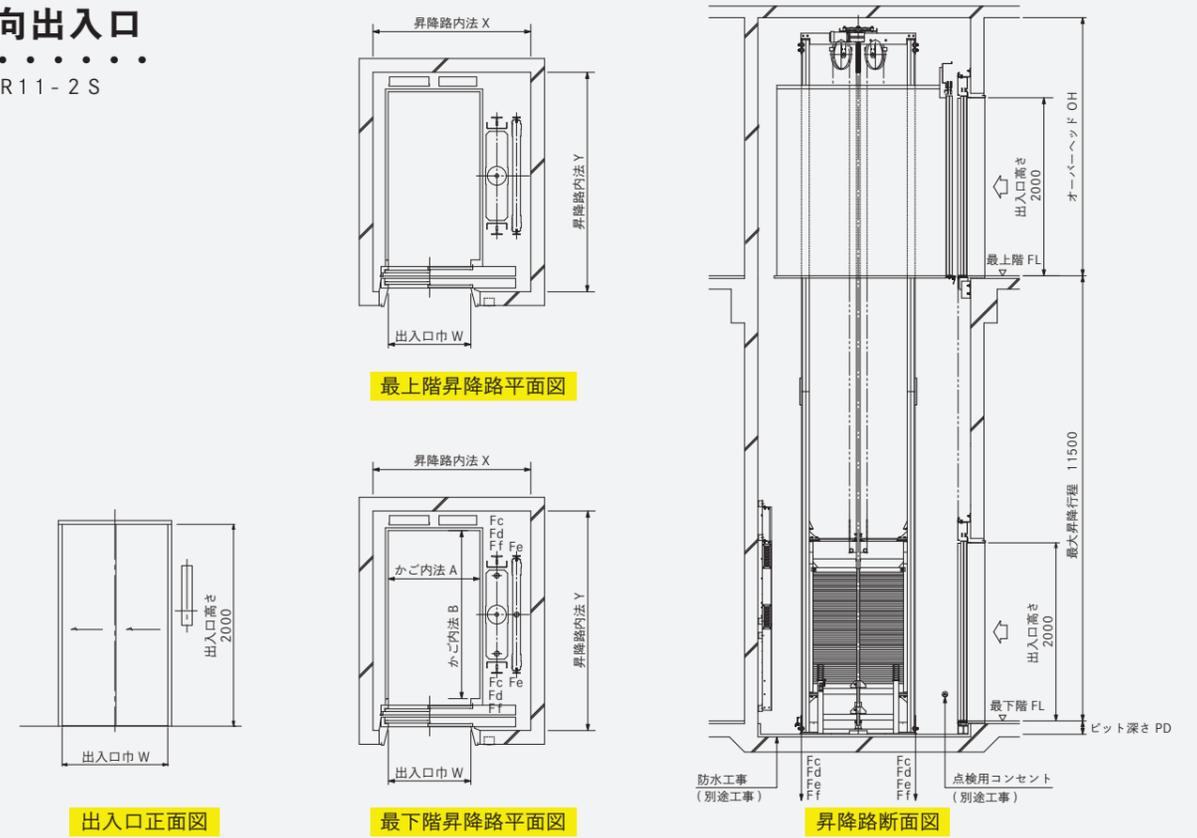
形式	定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	かご内法			出入口 ※5			昇降行程 (mm) ※3	昇降路 ※2				電動機 容量 (kW)		
				間口 A	奥行 B	高さ	型式	巾 W	高さ		S造内法 ※1		RC造内法			ビット 深さ PD	オーバー ヘッド OH
											間口 X	奥行 Y	間口 X	奥行 Y			
SCDD-R11-2SD	11	750	30 (18)	1000	1830	2100	貫通 二方向	900	2500	1690	2580	1770	2580	150	2900	11 (9.5)	
SCDD-R11-2S							一方 向 ※4			2420	2420						
SCDD-R11-2SQ							直角 二方向			1990	2280	2070	2280				

※1 S構造内法は柱・梁の耐火被覆の内面寸法となります。
 ※2 昇降路内法寸法はビット防水仕上後の有効寸法です。
 ※3 昇降行程は最大11.5m(4停止)、最小2.5mとなります。
 ※4 出入口が一方の機種は、バリアフリー新法には適合していません。
 (P11を除き、施設の区分による。)

※5 出入口型式は、全機種2枚戸片開き式です。
 ※ 昇降機耐震設計・施工指針(2016年版)耐震クラスA14が基本です。耐震クラスS14をご用命の場合はご相談ください。

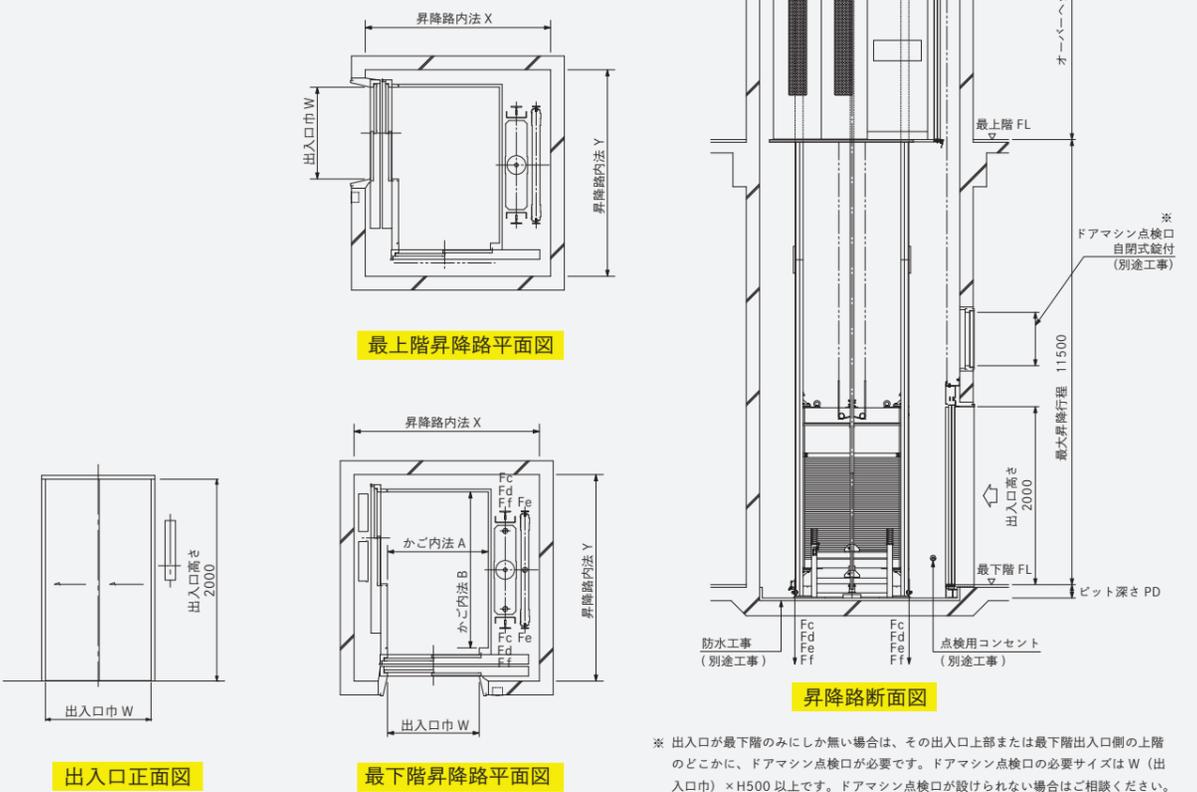
一方向出入口

SCDD-R11-2S



二方向出入口（直角型）

SCDD-R11-2SQ

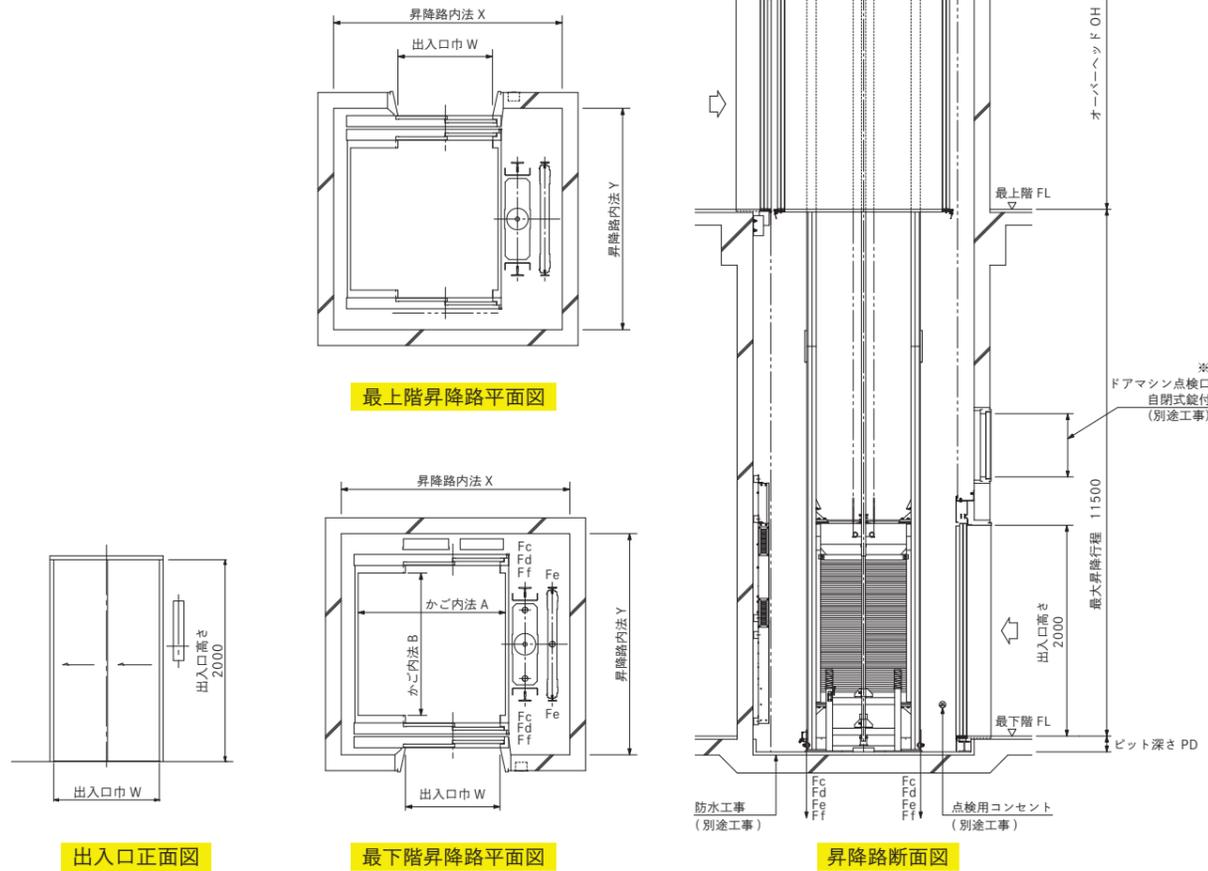


※ 出入口が最下階のみにしか無い場合は、その出入口上部または最下階出入口側の上階のどこかに、ドアマシン点検口が必要です。ドアマシン点検口の必要サイズはW（出入口巾）×H500以上です。ドアマシン点検口が設けられない場合はご相談ください。

スクリー式 RC造 / 据付図

二方向出入口（貫通型）

SCDD-P11-2SD



※ 出入口が最下階のみにしか無い場合は、その出入口上部または最下階出入口側の上階のどこかに、ダイヤモンド点検口が必要です。ダイヤモンド点検口の必要サイズはW（出入口巾）×H500以上です。ダイヤモンド点検口が設けられない場合はご相談ください。

昇降路寸法表（3）

（単位 mm）

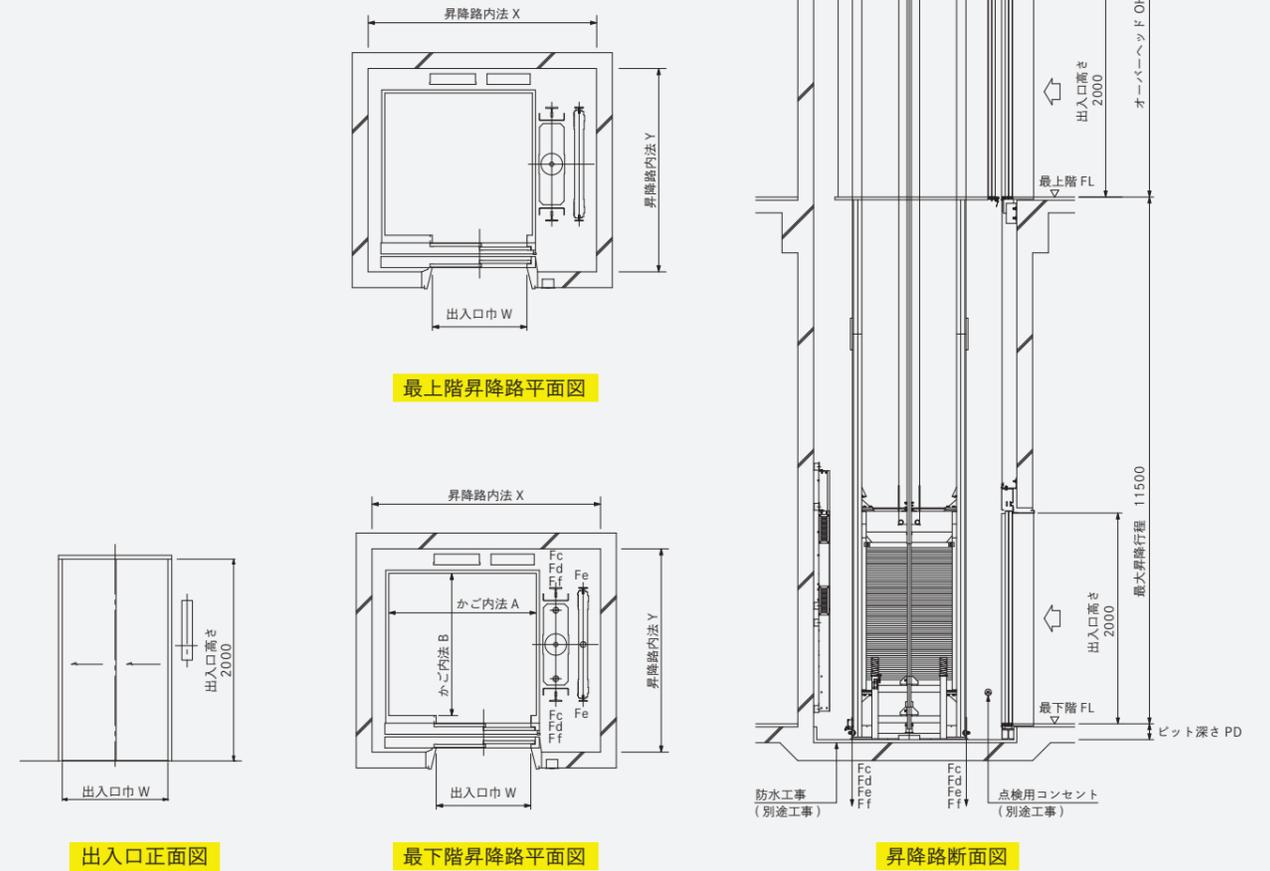
形式	定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	かご内法			出入口 ※4			昇降行程 (mm) ※3	昇降路 ※2				電動機 容量 (kW)	
				間口 A	奥行 B	高さ	型式	巾 W	高さ		S造内法 ※1		ビット 深さ PD	オーバー ヘッド OH		
											間口 X	奥行 Y				間口 X
SCDD-P11-2SD	11	750	30 (18)	1400	1350	2100	貫通 二方向	900	2000	2500	2140	2130	2130	150	2950	11 (9.5)
SCDD-P11-2S											1960	1960				

※1 S構造内法は柱・梁の耐火被覆の内寸法となります。
 ※2 昇降路内法寸法はビット防水仕上後の有効寸法です。
 ※3 昇降行程は最大 11.5m(4停止)、最小 2.5m となります。

※4 出入口型式は、全機種 2 枚戸片開き式です。
 ※ 昇降機耐震設計・施工指針（2016 年版）耐震クラス A14 が基本です。耐震クラス S14 をご用命の場合はご相談ください。

一方向出入口

SCDD-P11-2S



R9 型の場合

（地震荷重は A14 クラス）

各部荷重	
Fc かごレール下部長期荷重	23.9
Fd かご側レール下部安全装置作動時短期荷重	24.6
Fe ウェイト側レール下部安全装置作動時短期荷重	22.1
Ff かご側レール下部地震荷重	30.0
Px 地震荷重	7.7
Py 地震荷重 + Pe かご偏荷重	9.5

R11・P11 型の場合

（地震荷重は A14 クラス）

（単位 kN）

各部荷重	
Fc かごレール下部長期荷重	28.0
Fd かご側レール下部安全装置作動時短期荷重	28.5
Fe ウェイト側レール下部安全装置作動時短期荷重	29.4
Ff かご側レール下部地震荷重	35.1
Px 地震荷重	9.9
Py 地震荷重 + Pe かご偏荷重	12.0

仕様

●：基本仕様 ○：有償付加仕様

意匠一覧(1)

●：基本仕様 ○：有償付加仕様

項目	仕様	R9型	R11型	P11型	
か こ	照明	Light plate	●	●	●
	天井	鋼板塗装	●	●	●
		鋼板メタリック塗装	○	○	○
	側壁・戸・袖壁	化粧鋼板	●	●	●
		鋼板塗装	○	○	○
		鋼板メタリック塗装	○	○	○
		鋼板化粧シート貼り	○	○	○
		ステンレスヘアライン	-	○	○
		ステンレスパイプレーション	-	○	○
	戸当り目地	ステンレスヘアライン	○	○	○
	幅木	ステンレスヘアライン	●	●	●
	床	ビニルシート	●	●	●
		ビニルタイル	●	●	●
		ゴムタイル	○	○	○
	敷居	硬質アルミ	●	●	●
		ステンレスヘアライン	○	○	○
	手すり	2方向 φ32 ステンレスヘアライン	○	○	○
		3方向 φ32 ステンレスヘアライン	○	○	○
		2方向 φ32 木製	○	○	○
		3方向 φ32 木製	○	○	○
	鏡	ステンレス標準サイズ W600×H1440 (一方向出入口タイプのみ適用。)	○	○	○
		凸面鏡 (二方向出入口タイプのみ適用。)	○	○	○
	操作パネル	正操作パネル (車いす用操作盤型インターホン付。)	●	●	○
		副操作パネル (車いす用操作盤型表示窓付。)	●	●	○
		縦型操作パネル	-	-	●
		フェースプレート ステンレスヘアライン	●	●	●
操作ボタン	フェースプレート ステンレスパイプレーション	○	○	○	
	凸文字ボタン ※1	●	●	●	
	大型ボタン	○	○	○	
インジケーター	デジタル階床表示	●	●	●	
	カラー液晶表示 (縦型操作パネル組込み。) ※2	-	-	○	

※1仕様により対応できない場合があります。 ※2車いす専用操作パネルはデジタル階床表示となります。

意匠一覧(2)

項目	仕様	R9型	R11型	P11型		
乗 場	三方枠	小枠	鋼板塗装	●	●	●
			鋼板メタリック塗装	○	○	○
			ステンレスヘアライン	○	○	○
			ステンレスパイプレーション	○	○	○
		R-S 枠	鋼板塗装	●	●	●
			鋼板メタリック塗装	○	○	○
	ステンレスヘアライン		○	○	○	
	大枠	鋼板塗装	○	○	○	
		鋼板メタリック塗装	○	○	○	
		ステンレスヘアライン	○	○	○	
		ステンレスパイプレーション	○	○	○	
	幕板	鋼板塗装	○	○	○	
		鋼板メタリック塗装	○	○	○	
		ステンレスヘアライン	○	○	○	
		ステンレスヘアラインエッチング	○	○	○	
		ステンレスパイプレーション	○	○	○	
	戸	鋼板塗装	●	●	●	
		鋼板メタリック塗装	○	○	○	
		ステンレスヘアライン	○	○	○	
		ステンレスヘアラインエッチング	○	○	○	
		ステンレスパイプレーション	○	○	○	
	戸当り目地	ステンレスヘアライン	○	○	○	
	敷居	硬質アルミ	●	●	●	
		ステンレスヘアライン	○	○	○	
	操作パネル	フェースプレート ステンレスヘアライン	●	●	●	
		乗場ボタン インジケーター分離型	○	○	○	
操作ボタン	凸文字ボタン ※1	●	●	●		
	大型ボタン	○	○	○		
	防滴仕様ボタン ※1	○	○	○		
インジケーター	デジタル階床表示	●	●	●		
	カラー液晶表示	○	○	○		
ホールランタン	フェースプレート 鋼板塗装	○	○	○		
	フェースプレート ステンレスヘアライン	○	○	○		

※1仕様により対応できない場合があります。

●：基本仕様 ○：有償付加仕様

機能一覧(1)

項目	仕様	R9型	R11型	P11型
操作方式	乗合全自動方式	●	●	●
管制運転	地震時管制運転(リスタート機能付)	●	●	●
	緊急地震速報連動運転	○	○	○
	停電時自動着床装置	●	●	●
	自家発時管制運転	○	○	○
	火災時管制運転	○	○	○
	冠水時管制運転	●	●	●
福祉仕様	車いす兼用エレベーター仕様	○	○	○
	視覚障がい者対応仕様	○	○	○
	聴覚障がい者対応仕様	○	○	○
	発音式ボタン(かご)	○	○	○
	発音式ボタン(乗場)	○	○	○
省エネルギー機能	照明自動消灯機能	●	●	●
	換気扇自動休止機能	●	●	●
安全機能	戸開走行保護装置	●	●	●
	故障時最寄階自動着床運転	●	●	●
	異常時のドア繰り返し開閉動作	●	●	●
	ネクストランディング	●	●	●
	乗りすぎ防止装置	●	●	●
	同時通話式インターホン	●	●	●
	LEDかご内停電灯(自動充電式)	●	●	●
	機械式ドアセフティ(片側)	●	●	●
	マルチビームドアセフティ	●	●	●
	ドアシグナル	○	○	○
	敷居すき間 10mm ※1	○	○	○
	遮煙性能付乗場戸	○	○	○
	遠隔監視保守システム用インターフェース	●	●	●
	安心機能	かご内防犯カメラ	○	○
映像録画装置		○	○	○
かご内映像表示モニター(かご)		○	○	○
かご内映像表示モニター(乗場)		○	○	○
各階停止運転(防犯運転)		○	○	○
かご内警報ボタン		○	○	○
防犯窓(標準サイズ/大型サイズ)		○	○	○
特殊呼び登録(テンキー/キースイッチ/非接触ICカード/指紋認証)		○	○	○
任意階サービス切り離し機能(タイマー自動/スイッチ手動)		○	○	○
暗証式シークレットコール		○	○	○
広角ミラー(かご内縦型操作パネル取付) ※1	-	-	○	

※1仕様により対応できない場合があります。

●：基本仕様 ○：有償付加仕様

機能一覧(2)

項目	仕様	R9型	R11型	P11型
サービス機能	抗菌ボタン ※1	●	●	●
	戸開き延長ボタン	○	○	○
	行先階取り消し機能	●	●	●
	反転時呼び一括キャンセル機能	●	●	●
	パーキング機能	●	●	●
	暴風雨時パーキング機能	○	○	○
	基準階帰着制御	○	○	○
	出退勤時スケジュール運転	○	○	○
	満員時通過機能	○	○	○
	かご内「ナノイーX」装置	○	○	○
かご内コンセント	○	○	○	
案内機能	気配りアナウンス機能	●	●	●
	音声合成アナウンス機能(日本語)	○	○	○
	音声合成アナウンス機能(日本語・英語)	○	○	○
	音声合成アナウンス機能(管制モード時2ヵ国語仕様)	○	○	○
	音声合成アナウンス機能(管制モード時4ヵ国語仕様)	○	○	○
	ホールランタン	○	○	○
かご内案内板	○	○	○	
高調波対策	ノイズフィルター	●	●	●
	DCリアクトル	●	●	●
	絶縁トランス	○	○	○

※1仕様により対応できない場合があります。

工事範囲外の建築・設備工事

次の項目については除外工事によりエレベーターの見積りに含まれておりません。
 建築・設備工事として別途に施工くださるようお願いいたします。

別 途 工 事 内 容			
建 築 工 事 関 係	昇 降 路	昇降路の築造・耐火処理工事及び各階乗場工事。(インジケーター・押しボタン用開口を含む。) (コンクリート打ちの誤差 30mm以上の所は、必要に応じ、はつりまたは肉付け工事。)	○
		鉄骨構造・P C構造の昇降路における各階のファスナー設置工事、乗場関係機器取付用鋼材の設置工事、 またはインサート埋込み工事。(レールブラケット取付用中間ビームまたは立柱設置工事を含む。)	○
		乗場敷居受けコンクリート持ち出し工事。	○
		鉄骨構造の昇降路における鉄骨部分の耐火処理工事。	○
		各階乗場出入口枠周囲のモルタル埋め工事。	○
		乗場関係機器取付け後の各階出入口周囲の壁、床、その他建築物補修仕上工事。	○
		併設エレベーターの間仕切り工事、または中間ビーム設置工事。 (ビット床に段差がある場合の安全柵を含む。)	○
		ピット内防水仕上工事。(必要に応じ排水設備工事を含む。)	○
		ピットが深い場合の埋戻し工事。	○
		昇降路頂部に機器荷上げ用のトロリービームまたはフックの取付工事。	○
		トップビーム及び受梁の設置工事。	-
		マシンビーム受け用インサートプレート埋め込み工事。	-
		昇降路内跳ね出しスラブの設置工事。	-
	ピット点検用出入口設置工事。	-	
	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事。	-	
	屋外に面した乗場の庇、床勾配及び排水溝等の雨水侵入防止対策工事。	○	
	二方向出入口の場合の昇降路点検口の設置工事。	○	
	機 械 室	機械室の築造・耐火処理工事及び同出入口設置工事。(必要に応じ防音対策工事を含む。)	-
		機械室床の開口スリーブ工事。	-
機械室天井に機器荷上げ用のトロリービームまたはフックの取付工事。 (トロリービームまたはフックは吊り荷重 30kN 以上のものを設置。)		-	
エレベーター機械台受梁の設置工事。		-	
機械室床配管後のシンダーコンクリート打設工事及び防塵仕上工事。 (シンダーコンクリート厚 約 100mm(仕上を含む。))		-	
巻上機等の機械類搬入口の設置及び復旧工事。		-	
採光窓及び換気口の設置工事。		-	
制御盤等の設置、点検スペース及び点検扉の設置工事。(昇降行程 3000mm以下の場合。)	○		
設 備 工 事 関 係	エレベーター受電盤までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。 (医療機器、放送用機器、P C機器等の電源と動力電源の電源系統分離工事を含む。)	○	
	機械室の照明設備及び点検用コンセント設置工事。	-	
	ピットの点検用コンセント設置工事。	○	
	機械室、昇降路の換気または空調設備工事。	○	
	外部インターホン・非常ベル用の配管配線工事。	○	
	火災警報の無電圧接点の支給及び配管配線工事。	○	
	一般・非常放送用線の配管配線工事。	○	
	エレベーター遠隔監視用電話線の配管配線工事。	○	
	監視盤・監視カメラ用の配管配線工事。	○	
	監視盤までの電源線の引込み工事。	○	
	自家発電源識別用の無電圧接点の支給及び配管配線工事。	○	
自家発電源の供給設備工事。	○		
昇降路頂部または機械室天井の煙感知器の設置及び配管配線工事。	○		

※ 機械室と昇降路内温度は5℃以上～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにしてください。
 ※ 機械室と昇降路には有害ガスや甚だしい塵埃等が入らないようにしてください。
 ※ エレベーター部品の搬入に支障のない経路を確保してください。
 ※ エレベーター機械室受電端における電源電圧の変動は5%以内、電圧不平衡率は5%以内に保つようしてください。
 ※ 漏電遮断機はインバータ用または高調波に対して不要動作をしない製品を使用してください。

※ 据付工事後仮設電源、試運転用電力等は無償提供をお願いいたします。
 ※ エレベーターを工事用として使用する場合は別途ご相談ください。
 ※ エレベーター部品、据付材料の保管場所を無償貸与をお願いいたします。
 ※ 昇降路内の騒音・振動等が居室に伝播しない配置及び躯体構造(防音・防振工事等。)としてください。
 ※ 躯体が承諾図と相違がある場合は、エレベーター着工日までに躯体の修正をお願いします。

安心の保守・管理

保守のご契約を頂きますと、エレベーターの管理情報は設計・製造情報とともに Nichele Note（当社データベース）に蓄積され、定期点検・法定検査・修繕工事はもちろん、あらゆる“万が一”に迅速かつ確実なサポートが可能となります。製造メーカーだからこそその情報量・部品供給力、そしてフィールドエンジニアが 24 時間 365 日待機する全国ネットワークで、お客様に安全・安心をご提供します。

遠隔監視システム

サポートセンターでは、エレベーター側に設置した通信端末装置を通して、24 時間 365 日、お客様のエレベーターの状態をリモートで見守っています。万が一の突発的な故障が発生した場合でも、サポートセンターではその内容を瞬時に確認し、最寄りのフィールドエンジニアによる復旧の手配をスピーディーに行います。



遠隔監視システムの特徴

1. 遠隔監視機能

エレベーター主要機器の状態を監視すると同時に、トラブル発生時にかご内のお客様に安心していただけるよう、サポートセンターからインターホンを通して直接通話が可能となります。

2. 機械監視機能

(1) 遠隔自動点検

フィールドエンジニアによる訪問点検とは別に、エレベーター制御装置に蓄積された運行データを取得します。お客様へは、「エレベーター機械監視点検報告書」・「エレベーターご利用状況」にて、エレベーターの状況を月次でご報告します。

※ 報告書はお客様よりご要求がある場合にお渡ししています。

(2) 変調診断

エレベーター制御装置に蓄積された機器の状態変化を捉え、「軽レベル」・「重レベル」の識別を行い、その情報をフィールドエンジニアへ伝達します。これにより、故障の予防保全・早期復旧が可能となります。

3. 遠隔救出機能

万が一の閉じ込めが発生した場合には、サポートセンターで故障データを確認し、かご内防犯カメラによる映像とインターホンによる通話でかご内の状況も確認しながら、遠隔操作により救出を行います。

※ この機能の装備には、電話回線が 2 回線必要となります。1 回線は遠隔監視機能・機械監視機能に使用し、もう 1 回線は画像転送用に使用します。

※ エレベーターの法定安全装置が作動している場合には、遠隔救出機能を作動できない場合があります。

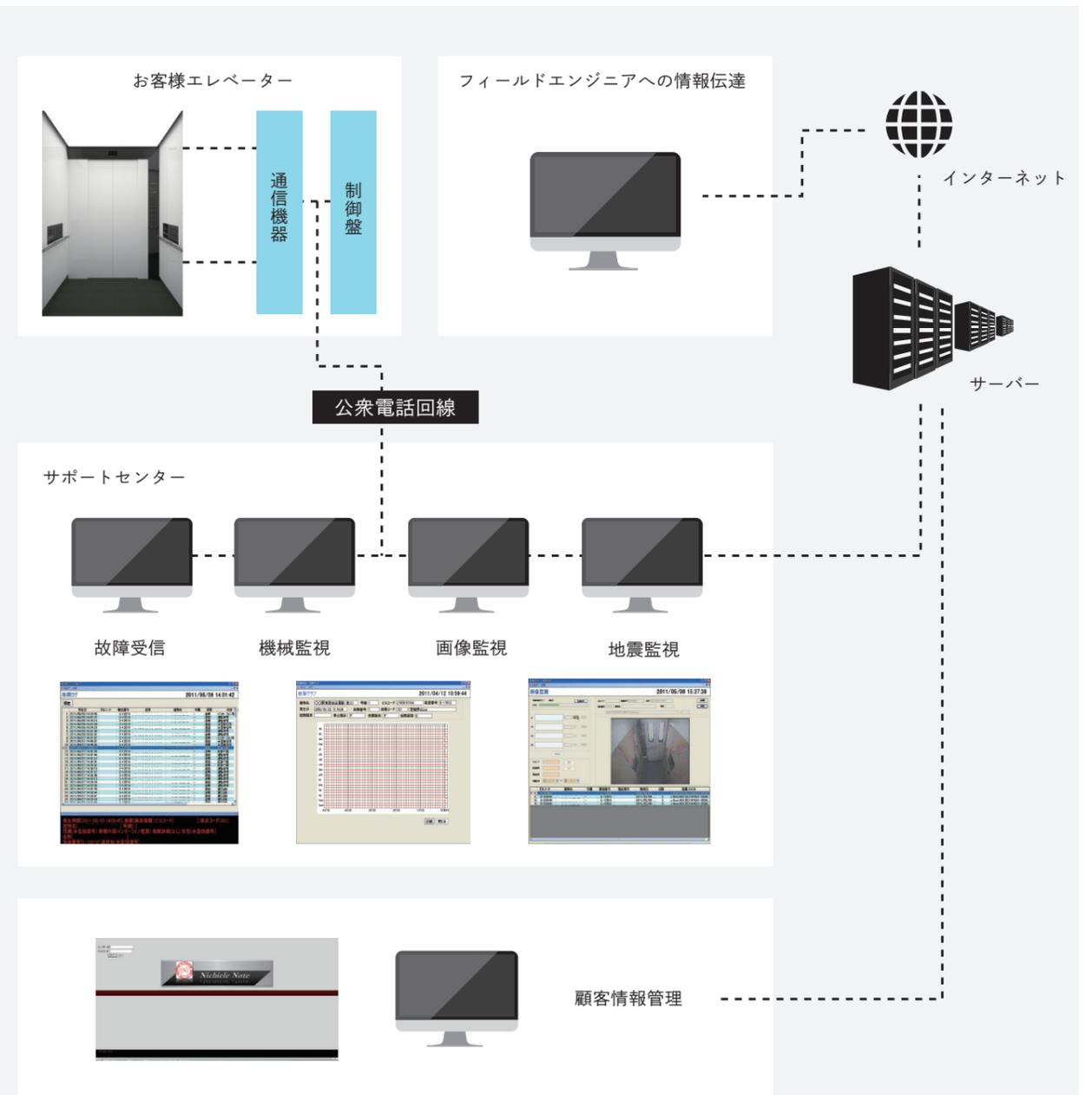
※ この機能は、万が一の閉じ込め故障発生時に復旧させる機能となります。本復旧にはフィールドエンジニアによる訪問点検が必要となります。

4. 地震時自動診断・復旧システム

地震時管制運転で休止したエレベーターを、自動で異常診断運転を行い、異常が認められない場合には、一時的に復旧させるシステムです。なお、復旧したエレベーターはフィールドエンジニアによる点検（本復旧）が必要です。

※ このシステムには当社と保守(機械監視)契約が必要となります。

5. 遠隔監視システム構成



お客様のエレベーター情報は設計・製造段階から Nichele Note に登録され、フィールドエンジニアからの技術情報も蓄積・故障分析・部品交換周期などに反映されています。

サービスネットワーク

Nationwide Network in Japan

末永く「安全・確実」にエレベーターをご利用していただくため、遠隔監視システムや故障通話の充実を図り、保守・管理を担う拠点を全国に配し、万Oneの場合にも迅速な対応をさせていただきます。

ご相談・お問合せを心よりお待ちしております。



- 本社
- 工場・サポートセンター
- 営業所・フィールドセンター
- 出張所・フィールドステーション

本 社 : 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-3 TEL : 03-3866-0261
 工 場 : 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1-7 TEL : 048-987-0111

営業所

札幌営業所 : 〒060-0806 北海道札幌市北区北 6 条西 6-2-12 TEL : 011-788-6860
 仙台営業所 : 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 1-6-3 TEL : 022-742-2031
 名古屋営業所 : 〒453-0035 愛知県名古屋市中村区十王町 2-1 TEL : 052-461-3111
 大阪営業所 : 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 2-6-33 TEL : 06-6441-8021
 福岡営業所 : 〒812-0008 福岡県福岡市博多区東光 2-3-18 TEL : 092-411-0193

フィールドセンター

北海道、東北、東京、名古屋、大阪、九州

フィールドステーション

旭川、函館、釧路、苫小牧、帯広、青森、八戸、秋田、山形、福島、郡山、北関東、高崎、大宮、北埼玉、西埼玉、所沢、千葉、浦安、千葉 NT、品川、新宿、中央(東京)、足立、光が丘、赤羽、立川、横浜、若葉台、新潟、富山、金沢、長野、松本、岐阜、熱海、静岡、浜松、豊橋、岡崎、豊田、名古屋東、名古屋南、三重、京都、舞鶴、東大阪、北大阪、南大阪、南部(大阪)、神戸、兵庫東、兵庫西、奈良、鳥取、岡山、広島、山口、高松、高知、北九州、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄 他

<https://www.nichiele.co.jp/>

■当社ホームページも併せてご覧ください。

日本エレベーター製造

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-3
 TEL:03-3866-0261 FAX:03-3864-8533
<https://www.nichiele.co.jp>

■[発行] 2023年8月
 ■カタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

